



1人1台端末

の活用がはじまります



文部科学省が進める「GIGAスクール構想」により、令和3年度から札幌市においても、すべての小学校・中学校において、児童生徒に1人1台の端末と高速大容量通信ネットワークを整備し、日常的に学習等で活用していきます。

1人1台端末の活用により

「学ぶ力」の育成の一層の充実を図ります



一人一人にあった学習を進めたり、周りの人たちと共に考えたりする授業を進めます。

「情報活用能力」の育成を図ります



情報を適切に収集・整理・分析・発信できるようにする力を育みます。

次のような学び方がいつでも可能となります

- 動画等のデジタル教材の活用
- 写真や動画による記録や作品の共同制作
- アンケート機能を用いた意見収集

- インターネットを用いた情報収集
- デジタルホワイトボード等を用いた協働学習
- 課題のオンラインでの提出 など



札幌市教育委員会



さっぽろ市
02-S02-21-764
R3-2-571



健康上の配慮

1人1台端末やデジタル教材等のICTを活用するにあたって、児童生徒の健康面に十分配慮します。

- 教室の明るさ
- 文字の大きさ
- 正しい姿勢
- 使用する時間
- 音の大きさ



情報モラル

学校におけるあらゆる教育活動の中に、情報モラルの視点をもった学習を取り入れます。

- 他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつこと。
- 犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること。
- コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解すること。

日常的な学校生活での活用

児童生徒の発達の段階や特性に十分配慮しつつ、学校生活の様々な場面で日常的に端末を活用する機会を設定します。

- 朝の健康観察
- 学級活動、特別活動
- アンケートの実施

課題探究的な学習の充実

1人1台端末が課題探究的な学習を充実させるツールとなるために、子どもの学びに効果的と考えられる活用を、積極的に図ります。

○個人での学習

- ・気付いたことをテキスト形式、写真、動画で記録する。
- ・インターネットやデジタル教材、過去の作品の写真や動画などから課題探究に必要な情報を収集する。
- ・観察、実験の様子を動画等に記録し、繰り返し視聴することで、より深く分析・考察する。

○協働的な学習

- ・意見交換や議論を通して意見を分類・整理し考えを深めたり、新たな気付きや考えを形成したり、協働してよりよい作品を完成させたりする。
- ・個人の観察、実験の記録を写真と共にクラス全体で共有する。
- ・遠隔地との交流授業等、学校の壁を越えた学びを行う。

多様な学びの場面での活用

児童生徒一人一人に対する教科指導の効果を高めたり、情報活用能力を育んだりすることや、学習上・生活上の困難さを改善・克服することができるよう、児童生徒の教育的ニーズに合わせたICTの活用を適切に進めます。

- 児童生徒の障がいの状態や特性に応じた多様な学びの場における活用
- 不登校支援における活用
- 帰国・外国人児童生徒等の指導における活用



保護者の皆様へ

ご家庭のインターネット環境でも、学校で使用するGoogleアカウントを利用することが可能です。アカウントの利用については、安全等に留意し、適切に利用いただくよう、ご理解とご協力をお願いいたします。